

満足度調査（2025 年度） 分析結果

学修支援センター

2026 年 7 月 3 日

本資料は、2025 年 9 月 8 日から 2026 年 3 月 31 日にかけて学修支援センターが実施した「学修状況・満足度調査」に関して、満足度に関する部分の回答内容を分析したものである。同様の調査は、2013 年度から調査の対象・時期などを状況に応じて変更しながら実施しており、2019 年度から今年度までは概ね同じ形式で実施している。

回答状況を表 1 に示す。人数が少ない学部・学年もあるが、全学部・学年より回答が得られた。全在籍者数に対する回答率は 60.43%と、前回の 51.56%より 8.87 ポイント高い結果となった(前々回は 23.97%)。前回の回答状況と比べると、学部別では総合経営学部が 69.92% (前回は 73.96%)、社会学部が 49.37% (前回は 68.00%)、ソフトウェア情報学部が 53.23% (前回は 16.67%) 及び薬学部が 58.37% (前回は 21.27%) と、総合経営学部では継続して約 7 割の回答が得られるとともに、ソフトウェア情報学部で 36.56 ポイント及び薬学部で 37.10 ポイント増加した。

表 1 回答状況（学部・学年別）

	総合経営学部	社会学部	ソフトウェア 情報学部	薬学部	学年計
1 年生	87 名	27 名	53 名	21 名	188 名
2 年生	98 名	24 名	45 名	26 名	193 名
3 年生	99 名	32 名	31 名	28 名	190 名
4 年生	74 名	35 名	3 名	21 名	133 名
5 年生				2 名	2 名
6 年生				24 名	24 名
学部計	358 名	118 名	132 名	122 名	730 名

調査における質問項目をこの資料の最後に添付する。本調査では、学修支援に関して授業の難易度や支援の必要性を、学生支援に関して健康面・経済面等の支援の必要性を尋ねた。また、各々について質問の後に満足度と判断理由を回答してもらった。さらに、今後の改善に向けた意見・アイデアを募った。

以降、それぞれの質問に対して、前回以前の調査との比較も含めた分析結果を述べる。

質問 2. 「学修支援」の必要性和評価

質問 2 は 6 項目で構成されており、このうち(ア)～(エ)では学修支援に関する状況把握と支援の必要性を回答する形式となっている。回答は、「そう思う」から「そう思わない」までの 4 段階と「分からない」の中から選択させた。図 1～4 の配色は、次のようにしている。

回答内容

■:「そう思う」、■:「どちらかといえば、そう思う」、■:「あまりそう思わない」、
■:「そう思わない」、■:「分からない」、■:未回答

平均的な授業の難易度についての学部別回答分布は、図 1 のようになった。全学平均では「そう思う」が 5.75%、「どちらかといえば、そう思う」が 20.82%で、合わせて 26.58%となった。この合計値は、2018 年度の 49.54%より 2022 年度の 29.7%まで減少傾向が見られ、2023 年度が 34.6%といったん増加し、2024 年度は 26.19%再び減少に転じていたものの、今回はほぼ変化が見られなかった。学部別では、薬学部が 42.62%と最も高く、他の 3 学部は 2 割強であった。薬学部は前回の調査では 14.89%と低めの状況であったが、今回は前々回までと同様の 4 割以上と高い結果となった。

学年別（5 年生と 6 年生は回答が少ないため含めない）では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、1 年次では 30.85%、2 年次では 32.64%、3 年次では 26.84%及び 4 年次は 12.78%と、3 年次からの減少が見られた。

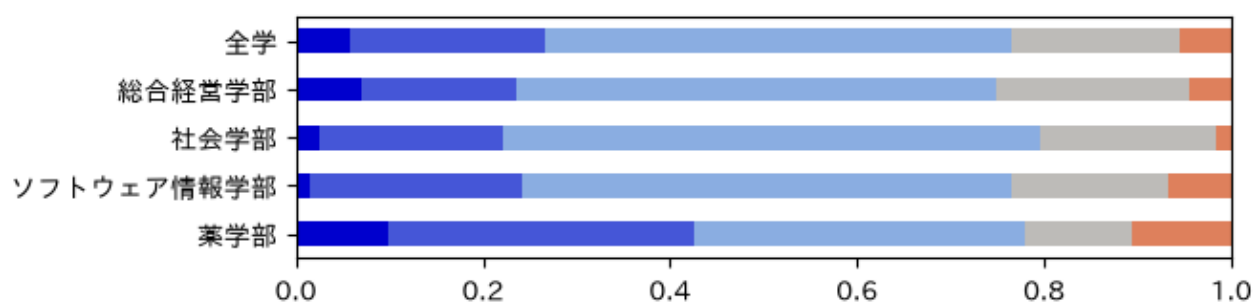


図 1 「2(ア) 本学で受けている授業の難易度は、全科目を平均するとかなり難しいと思いますか」の回答分布

また、普段の授業で難しさを感じることを問うたところ、回答分布は図 2 のようになった。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、総合経営学部と社会学部では前回とほぼ変わらなかったが、ソフトウェア情報学部で 31.06%（前回より 17.66 ポイント減）、薬学部で 33.61%（前回より 8.08 ポイント増）と変化が見られた。

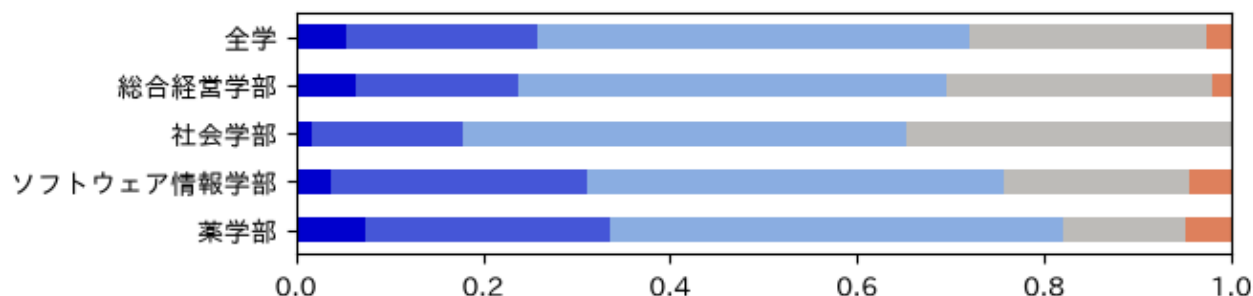


図 2 「2(イ) 難しく理解できない、または授業のペースに追い付けないと感じることはありますか」の回答分布

学修に対する支援が必要と思うかどうか尋ねたところ、結果は図 3 のようになった。全学・学部別とも、2(ア)と同様の傾向が見られた。学年別（5 年生と 6 年生は回答が少ないため含めない）の「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、2(ア)が 3 年次より減少し、2(イ)も学年が高くなるごとに数ポイントずつ減少しているが、2(ウ)は 1 年次の 28.19%からほぼ変化は見られない。

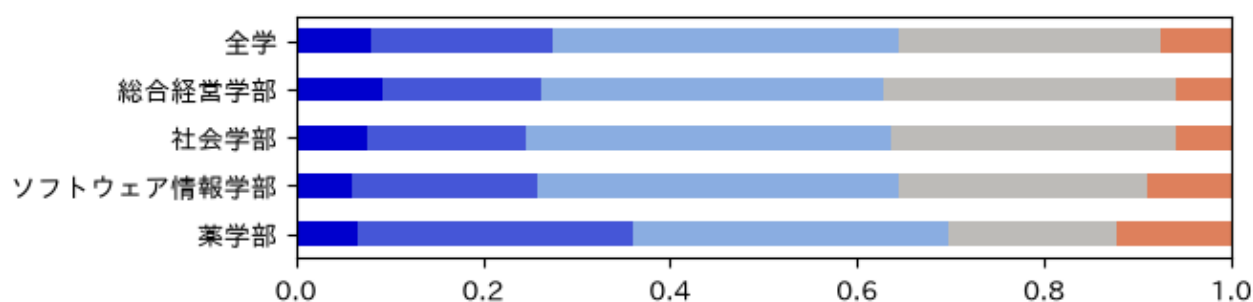


図 3 「2(ウ) 学修に関して支援が必要だと思っていますか」の回答分布

支援を必要としている学生が、実際に本学で提供している学習相談窓口やオフィスアワーなどの利用を考えるか確認した結果は、図 4 のようになった。以前の調査では、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計が 2(ウ)よりも数ポイント低い傾向が続いていたが、今回は学部によって多少の増減が見られた。

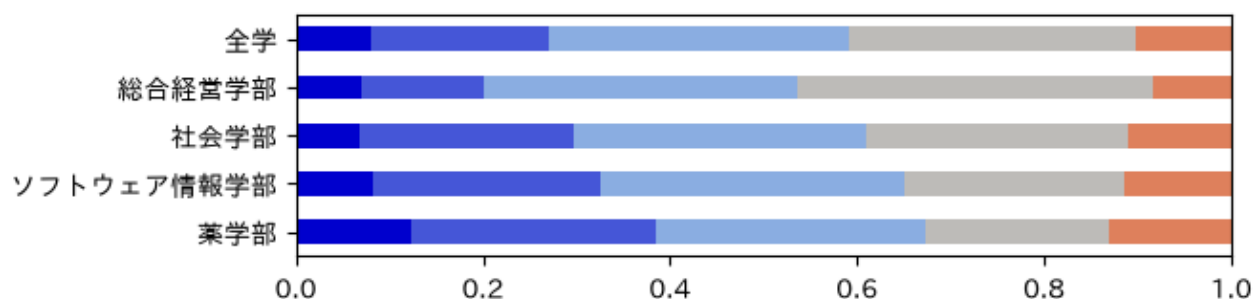


図 4 「2(エ) 学習相談窓口やオフィスアワーなどを利用したいと考えることはありますか」の回答分布

2(ア)～(エ)を踏まえ、2(オ)では学修支援に対する満足度を尋ねた（図 5）。この質問では、「満足」から「不満」までの 4 段階と「分からない」の中から回答を選択させた。図 5 の配色は、次のようにしている。

回答内容



回答分布を見ると、全学的には「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が 71.51%と、2020 年度：56.0%から 2022 年度：78.2%、2023 年度：74.2%、2024 年度：82.00%と高い割合を維持している。

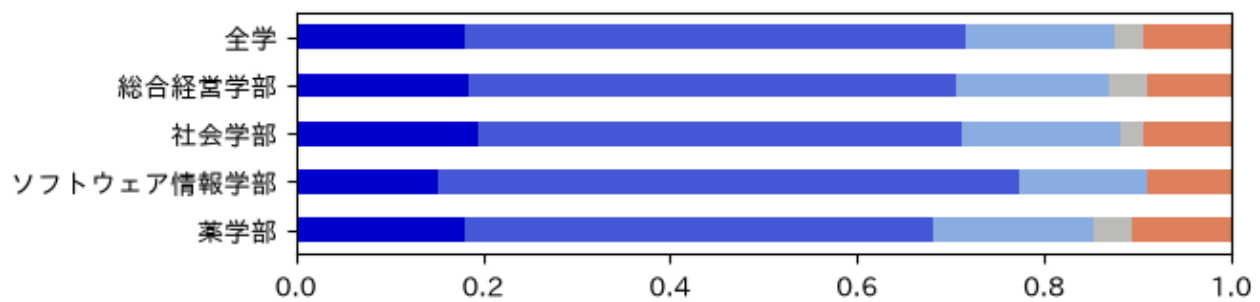


図5 「2(オ) 学修支援や学修環境についての満足度を、選択肢から選んでください」の回答分布

2(カ)では、前問(オ)の回答理由を自由記述形式で尋ねた。「とくに無し」等を除いた全体の記入率は75.62%と、これまでの4割強から、回答数が大きく増加した。「満足」と「どちらかといえば、満足」の理由としては、授業内容・方法、教職員の対応が良い、学修環境が良い等が多くあげられている。一方、「不満」と「どちらかといえば、不満」の理由には、受講環境、学修環境に関する不満、教員の対応への不満があげられた。

質問3. 「学生支援」の必要性と評価

質問3は7項目で構成されており、このうち(ア)～(オ)では、学生支援に関する状況把握と支援の必要性を尋ねている。回答は、質問2(ア)～(エ)と同じく、「そう思う」から「そう思わない」までの4段階と「分からない」の中から選択させた。図6～10の配色は、次のようにしている。

回答内容

■:「そう思う」、■:「どちらかといえば、そう思う」、■:「あまりそう思わない」、
■:「そう思わない」、■:「分からない」、■:未回答

初めに、心身の健康維持に対する支援の必要性を尋ねた(図6)。全体では「そう思う」が7.81%、「どちらかといえば、そう思う」が14.25%で、合わせて22.05%が必要と感じている。学部別では、社会学部はこの二つの合計が22.88%で前回の38.24%より減少した。他の3学部は前回とほぼ同じ状況であった。

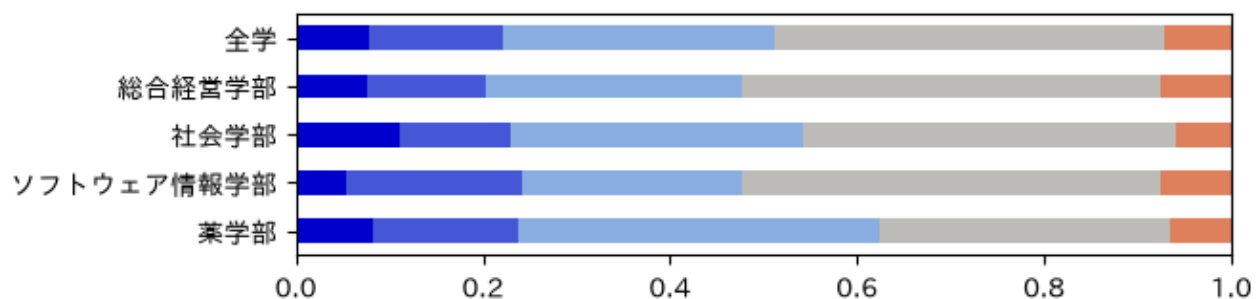


図6 「3(ア) 心身に関する健康維持について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

学費や生活費等の経済面での支援に対しては、図 7 の回答分布となった。全体では「そう思う」の割合が 19.04%、「どちらかといえば、そう思う」が 25.07%で、合わせて 44.11%が必要性和を感じている。学部別では、薬学部が 52.46%と最も高めであった。また社会学部は 38.14%で前回より 10 ポイント程度減少している。

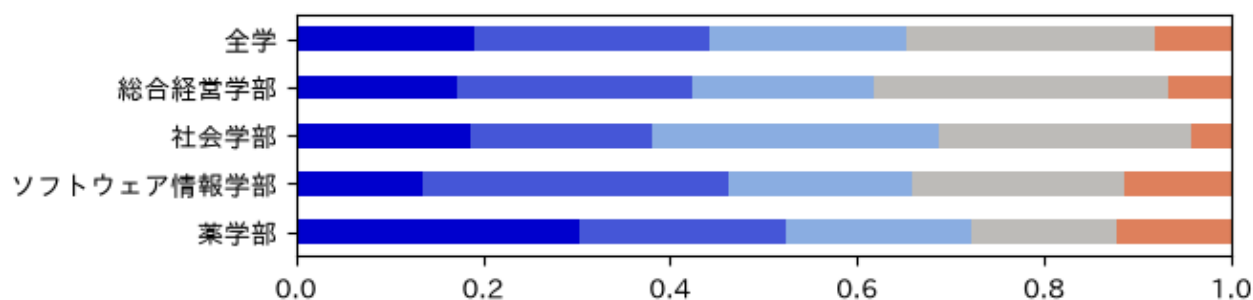


図 7 「3(イ) 経済面（学費、生活費など）について、支援が必要だと思いますか」の回答分布

本学は、総合経営学部や社会学部で部活動に取り組んでいる学生が多いが、こうした正課外の活動に関する支援の必要性については、図 8 の回答分布となった。大学全体としては、「そう思う」が 13.70%、「どちらかといえば、そう思う」が 16.16%で、合わせて 29.86%（前回より 7.94 ポイント減）が必要性和を感じている。

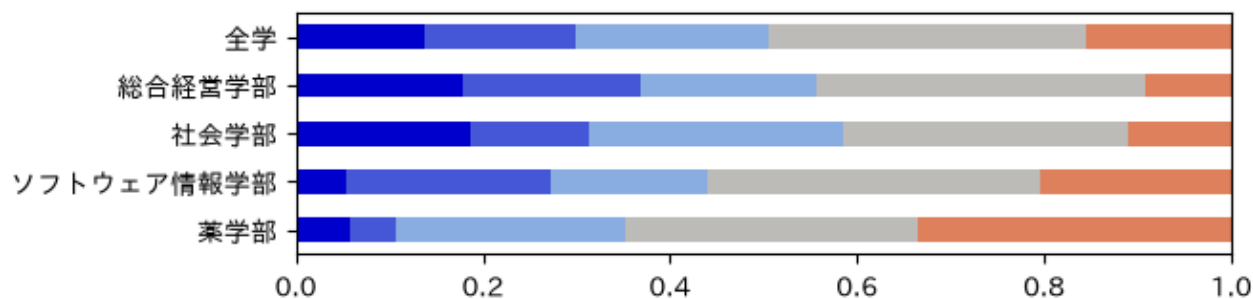


図 8 「3(ウ) 部・サークル活動などの正課外活動について、支援が必要だと思いますか」の回答分布

他の学生や教職員との人間関係についての支援に関しては、図 9 の回答分布となった。大学全体では「そう思う」の割合が 6.30%、「どちらかといえば、そう思う」の割合が 15.21%で、合わせて 21.51%が必要性和を感じている。社会学部が他学部より高めである傾向は、これまでの調査と同様である。

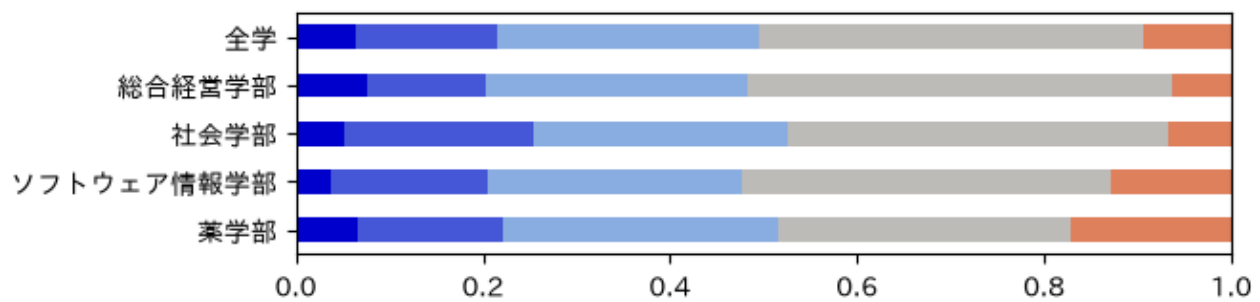


図 9 「3(エ) 他の学生や教職員との人間関係について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

3(ア)～(エ)では対象別に支援の必要性を尋ねたが、(オ)では支援を必要とする学生が、本学が提供している保健室、カウンセリング制度、及び相談窓口の利用を考えるかどうかを確認した。図 10 に見られるように、大学全体では「そう思う」の割合が 5.34%、「どちらかといえば、そう思う」の割合が 11.78%で、合わせて 17.12%が利用を考えている。3(エ)と同様、社会学部で高めの傾向が見られる。

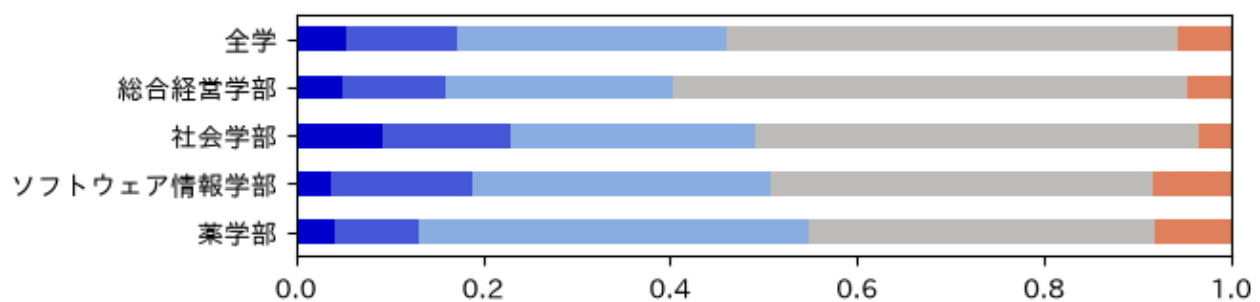


図 10 「3(オ) 保健室やカウンセリング制度、および相談窓口などを利用したいと考えることはありますか」の回答分布

(ア)～(オ)を踏まえ、3(カ)では学生支援全体に対する満足度を尋ねた (図 11)。この質問では、「満足」から「不満」までの 4 段階と「分からない」の中から回答を選択させた。図 11 の配色は、図 5 と同じく、次のようにしている。

回答内容

■ : 「満足」、■ : 「どちらかといえば、満足」、■ : 「どちらかといえば、不満」、
 ■ : 「不満」、■ : 「分からない」、■ : 未回答

全学では「満足」が 21.51%で、「どちらかといえば、満足」の 51.23%を合わせると 72.74%が満足と感じている。昨年度までは、この割合は 2020 年度が 60.5%、2022 年度が 70.3%、2023 年度が 78.00%、2024 年度が 80.36%と増加傾向にあったが、今回は減少に転じた。

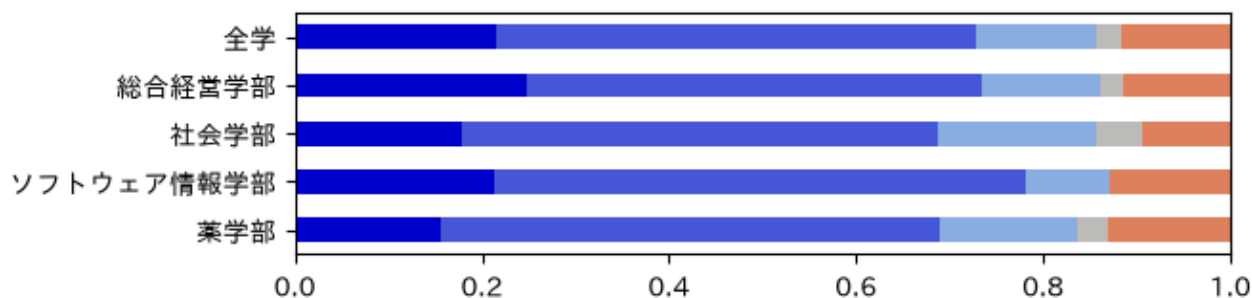


図 11 「3(カ) 本学での支援や環境についての全体的な満足度を、選択肢から選んでください」の回答分布

3(キ)では、前問(カ)の回答理由を自由記述形式で尋ねた。「とくに無し」等を除いた全体の記入率は43.15%であった。「満足」と「どちらかといえば、満足」の回答理由には、教職員の対応、キャリア支援、部活動、学修環境、経済面での支援等があげられている。一方、「不満」や「どちらかといえば、不満」の理由には、学修環境、リモート授業の方法、部活動、支援体制の分かりづらさ等に関して改善を求める意見が見られた。

質問 4. 支援体制や学修環境をより良くするための意見やアイデアを自由に書いてください

この設問は、これまでの学修時間・学修行動調査で常に最後に尋ねてきたものである。今回は 289 件の回答が寄せられた。以下に分類とそれぞれの主な内容をまとめる。

- 授業の方法
 - 授業方法の工夫、授業時の私語対応、リモート授業の増加
- 学生生活支援
 - 相談しやすい環境の整備、経済面での支援強化、部活動の支援
- 施設・設備
 - 冷暖房の環境、開館時間の延長、ネットワーク環境、
- その他
 - 現状維持、留学生との交流増、学部間の交流増、学生の意見を集約する仕組み

これらの内容は、前回までの調査と同様のものも多い。

なお、この設問（質問 4）の回答と、学修支援に関する満足度の回答理由（質問 2(カ)）、学生支援に関する満足度の回答理由（質問 3(キ)）は、それぞれ個人が特定されないようにした上で、内容を整理して教職員間で共有している。また、学生支援と教務に関する意見に対する回答を作成し、掲示も行う予定である。

2025 年度「学修状況・満足度調査」(満足度の部分)

2. 「学修支援」の必要性や現状評価について、以下の質問の回答を選択肢から選んでください。

そう思う、どちらかといえばそう思う、あまりそう思わない、そう思わない、分からない

- (ア) 本学で受けている授業の難易度は、全科目を平均するとかなり難しいと思っていますか
- (イ) 難しく理解できない、または授業のペースに追い付けないと感じることはありますか
- (ウ) 学修に関して支援が必要だと思っていますか
- (エ) 学習相談窓口やオフィスアワーなどを利用したいと考えることはありますか

- (オ) 「学修環境」についての満足度を、選択肢から選んでください。

満足、どちらかといえば満足、どちらかといえば不満、不満、分からない

- (カ) 前問の回答理由として、個人的にもっとも影響が大きいことは何か、自由に書いてください

3. 「学生生活に関する支援」の必要性や現状評価について、以下の質問の回答を選択肢から選んでください。

そう思う、どちらかといえばそう思う、あまりそう思わない、そう思わない、分からない

- (ア) 心身に関する健康維持について、支援が必要だと思っていますか
- (イ) 経済面（学費、生活費など）について、支援が必要だと思っていますか
- (ウ) 部・サークル活動などの正課外活動について、支援が必要だと思っていますか
- (エ) 他の学生や教職員との人間関係について、支援が必要だと思っていますか
- (オ) 保健室やカウンセリング制度、および相談窓口などを利用したいと考えることはありますか

- (カ) 本学での支援や環境についての全体的な満足度を、選択肢から選んでください。

満足、どちらかといえば満足、どちらかといえば不満、不満、分からない

- (キ) 前問の回答理由として、個人的にもっとも影響が大きいことは何か、自由に書いてください

4. 支援体制や学修環境をより良くするための意見やアイデアを自由に書いてください